

(様式第2号)

会 議 録

令和8年2月27日作成

会 議 の 名 称	令和7年度第3回島本町立第二中学校学校運営協議会		
会 議 の 開 催 日 時	令和8年2月27日 (金) 午後3時30分～午後4時55分		
会 議 の 開 催 場 所	島本町立第二中学校 校長室		
公 開 の 可 否	☑ ・ 一 部 不 可 ・ 不 可	傍 聴 者 数	0人
非公開の理由 (非公開 (会議の一部非公開を含む。)の場合)			
出 席 者	委 員	幸嶋 成幸 (学校運営協議会会長) 池尾 幸司 (学校運営協議会副会長) 居内 正 (大阪青凌高等学校教頭) 井上 功 (対象学校の運営に資する活動を行う者)	
	事 務 局	小林 智 (校長) 加藤 崇 (教頭) 三上 裕貴 (首席)	
会 議 の 議 題	(1) 令和7年度の取組について (2) 令和8年度に向けて (3) その他		
決 定 事 項 等	・「令和8年度に向けて (決定版)」を作成し、学校長に提出する。		

審 議 等 の 内 容

(1) 令和7年度の取組について

【事務局】

- ・2年企業との連携 キャリア教育を実施。
- ・新タブレット導入後、各学年・教科においてICTを取り入れた効果的な授業展開を積極的に実践した。また、教職員対象の研修も実施した。
- ・ジャーナリストの佐々木 正明氏を講師に招き、PTA・教職員・生徒と一緒に『生きる力』をどう育むかについて学ぶ研修を設置した。府立高校の校長も参加したパネルディスカッション等も実施。
- ・いじめ、不登校の未然防止や校内教育支援ルーム（たけのこ）の運営にも力を入れた。校内教育支援ルームでは異学年交流ができた。
- ・各委員会が意欲的に学校の活性化を進めることができた。
- ・1年生の福祉学習ではインクルーシブなまちづくりについて調べ、議会でもしっかりと提言することができていた。コリアタウンへの校外学習においても事後の新聞づくりにおいてもその力を発揮した。
- ・次年度は生徒が保護者以外の知らない大人に対して、話す力をつけることや、大人の話聞いて学ぶ機会を持つため、中学生と地域の方が交流する「トークフォークダンス」を実施する予定。さまざまな大人の方に協力してもらう必要がある。

(2) 令和8年度に向けて

【事務局】

- ・学校に行きづらい、または教室に入りにくい生徒への支援において、引き続き校内教育支援ルーム‘たけのこ’の運営をしていく。フリースクールや町内での教育支援ルームを活用している生徒に対しても、学習保障や進路保障に力を入れていく。
- ・人権教育では自他を大切に、自律的に物事を考え、行動できる生徒の育成のため、そのような場面設定を含めて推進していく。
- ・確かな学力をつけていく。そのため、ICTの効果的な活用を含めて生徒が面白い、楽しいと感じる授業づくりを進めていく。
- ・ICTでの中学校において付けたい力としては情報リテラシー。便利なものだからこそ、気を付けなければいけない面もあることを理解して利用する力を付けてほしい。AIでの文書作成もその1つ。
- ・教職員が健康で働き甲斐を感じ、生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できる環境整備を進める。

	<p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の学ぶ機会の確立と働き方改革の両立は非常に重要な部分である。本学校運営協議会としての提言には、その旨を特記すべきである。 ・以上の内容を踏まえ、当協議会において「令和8年度に向けて（決定版）」を作成し、学校長に提出する。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度は中学校校区で学校運営協議会を開催する。二中校区は、二中、二小、三小で合わせて行う
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年に向けて